

# 地域への取組み

地域金融機関として地域密着型金融を継続的に推進していくことが、当行の経営理念である「地域とともに」「お客さまのために」「『親切』の心で」にかなうものであると考え、地域の中小企業のお客さま・個人事業主のお客さま、および個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、新商品開発等サービスの向上に努めてまいります。

また、地域社会・地域経済への貢献として、CSR活動にも積極的に取り組んでおります。

## 地域のお客さまとのお取引の状況

地域のお客さまからお預かりした大切な預金の大半を県内の企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。

なお、中小企業向けや個人向け貸出金・同貸出先数については、大半が県内であります。

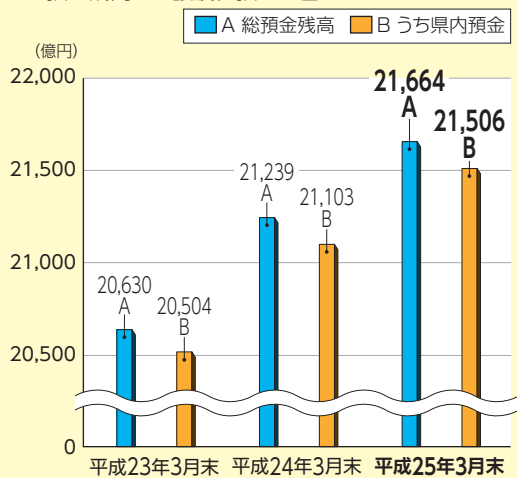
また、平成25年3月期末の県内保証協会保証付貸出金残高は、1,425億円となっております。

(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

## 預金・預り資産残高等

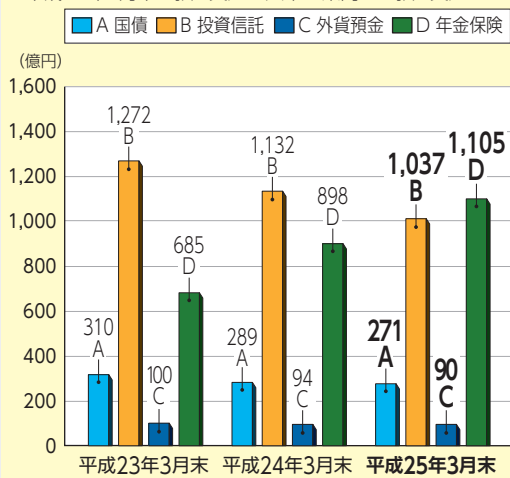
### 預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。



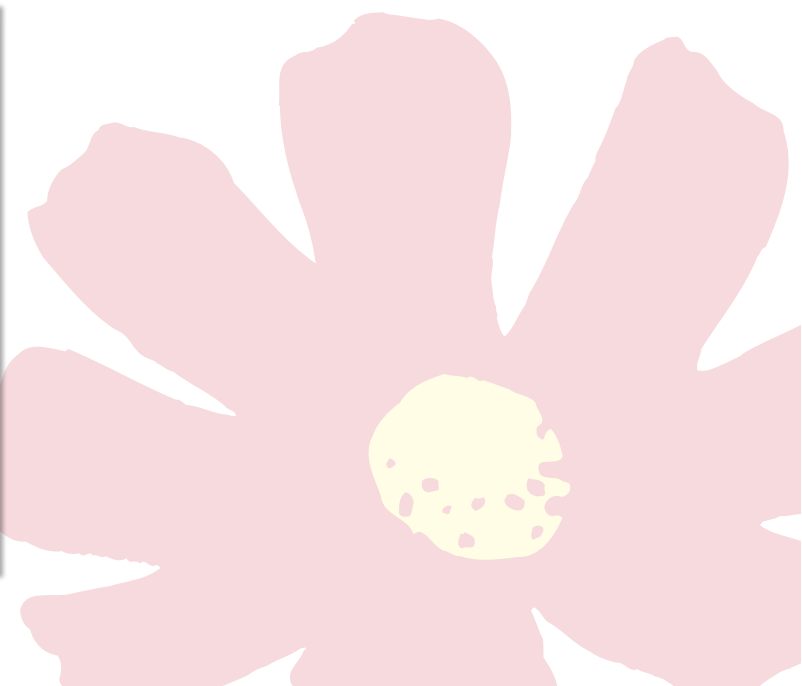
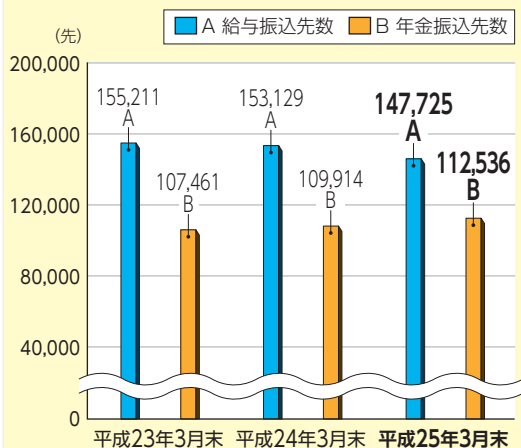
### 預り資産残高

平成25年3月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



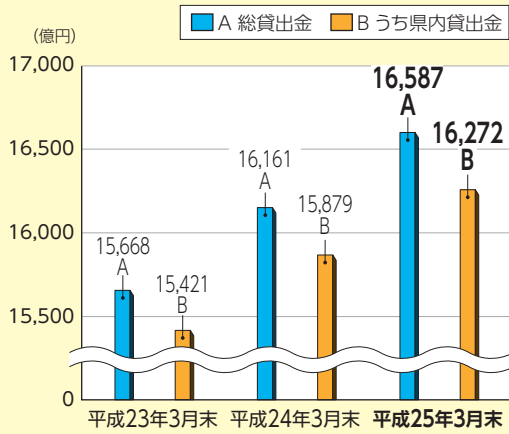
### 給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、多くのお客さまのご利用をいただいております。

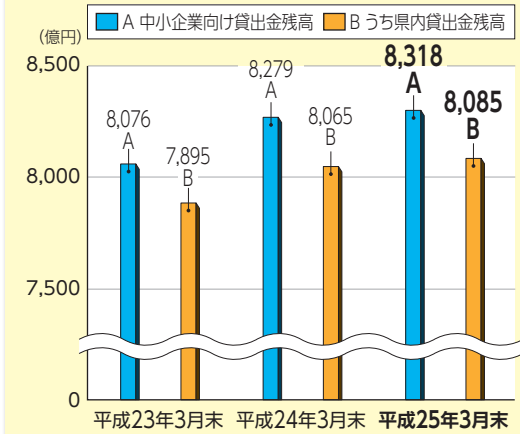


貸出金等

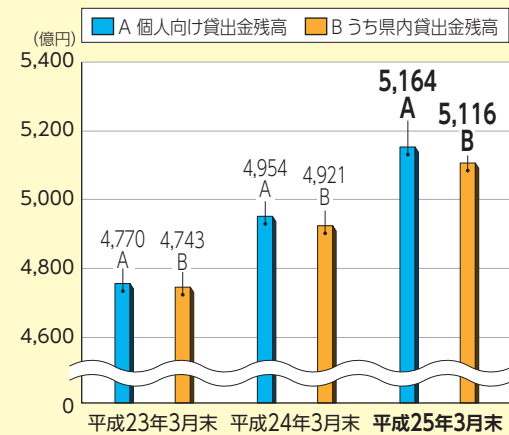
貸出金残高等



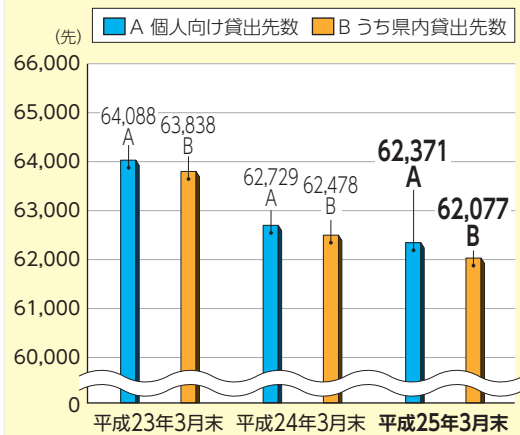
中小企業向け貸出金残高等



個人向け貸出金残高等



個人向け貸出先数等



業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位:億円)

業種	平成25年3月末	
	貸出金残高	うち県内向け
製造業	1,695	1,639
農業、林業	47	47
漁業	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	27	27
建設業	808	806
電気・ガス・熱供給・水道業	67	67
情報通信業	82	81
運輸業、郵便業	633	627
卸売業、小売業	1,820	1,784
金融業、保険業	518	517
不動産業、物品賃貸業	3,718	3,564
各種サービス業	1,726	1,714
地方公共団体	276	276
その他	5,164	5,116
<b>合計</b>	<b>16,587</b>	<b>16,272</b>

トップメッセージ

地域への取組み

平成24年度の概況

経営・内部管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・株主の状況

連結決算

自己資本の充実の状況等について



## 地域密着型金融の推進への取組み

### 企業理念

## 「地域とともに お客さまのために『親切』の心で」

当行は、この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考え、円滑な資金供給を担うだけでなく、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしていきたいと考えております。

平成23-24年度の2年間においては、「地域密着型金融の恒久的な取組計画(平成23-24年度)」を策定・公表し、地域密着型金融推進に係る積極的な取組みを実施してまいりました。

平成25年4月よりスタートした新たな中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」においては、「地域のお客さまの ベスト・コンサルタント」の実現に向け、各重点施策の実行を通じ、お取引先企業の成長支援・経営支援を主とした地域密着型金融の推進に積極的に取組み、地域やお客さま、そして当行自身の成長・発展を目指しております。

当行は、地域密着型金融の推進にあたり、①顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組みを、中長期的な視点に立ち、全行的取組みとして継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力・財務健全性の向上につなげてまいります。

### 数値目標の進捗状況(平成23年4月～平成25年3月)

取組み項目	数値目標	実績	進捗率
事業承継案件への関与数	100先以上	315先	315%
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	70回	140%
年金等ライフプランニング相談会開催数	500回以上	512回	102%
創業・新事業支援融資	150件以上	82件	54%
営業斡旋、ビジネスマッチング等の数	200件以上	1,115件	557%
経営改善支援取組み率※1)	11%以上	11.3%	102%
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	60先以上	104先	173%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率※2)	10%以上	14.6%	146%
再生計画策定率※3)	10%以上	16.2%	162%
事業再生に向けた取組み先数※4)	10先以上	39先	390%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	動産・債権譲渡担保融資案件 200件	164件	82%
2級ファイナンシャルプランニング技能士 (中小事業主資産相談業務)	100名増加	115名	115%
職場体験学習の開催	20回以上	16回	80%

(※1) 経営改善支援取組み率=経営改善支援先(正常先除く)/期初債務者数(正常先除く)

(※2) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)

(※3) 再生計画策定率=再生計画策定先数(正常先除く)/経営改善支援先数(正常先除く)

(※4) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、RCC企業再生スキーム活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行、外部コンサルティング会社活用等の先数

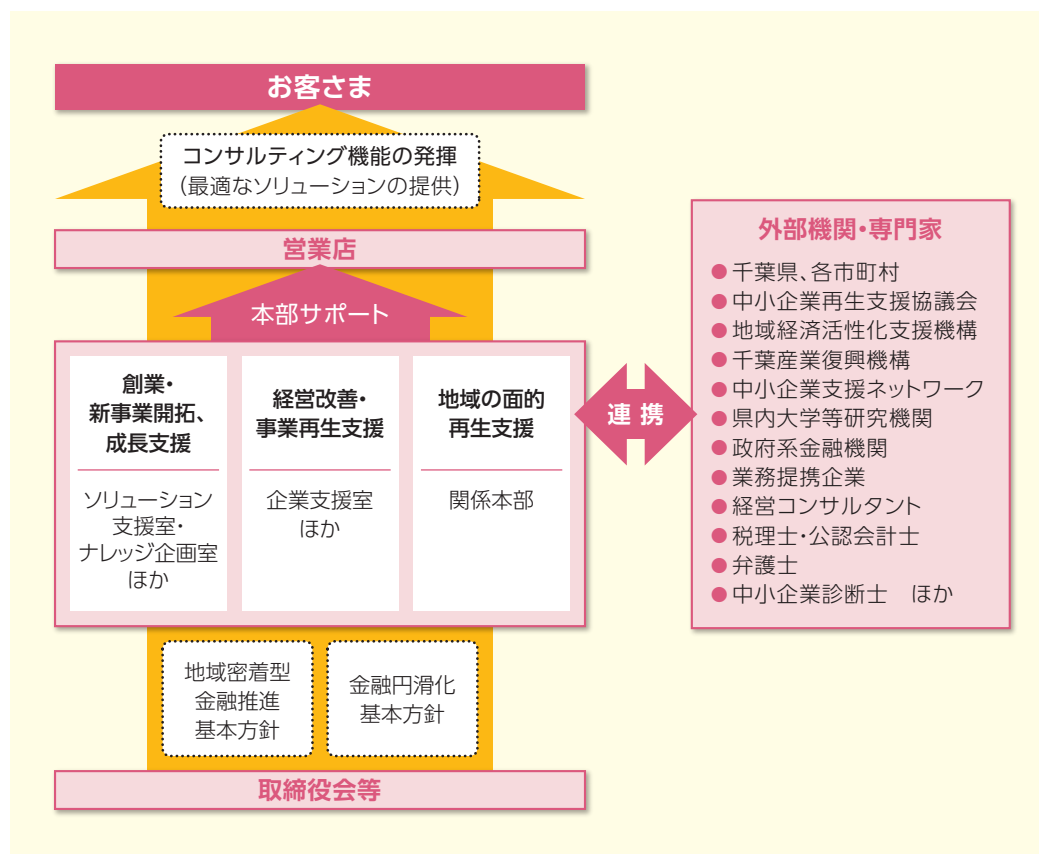
## 「中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組みの状況」

### 1 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等お客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化、および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

### 2 中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮するよう態勢を整備しております。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



トップ  
メッセージ

地域への  
取組み

平成  
24年度  
の概況

経営・内部  
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・  
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

連結決算

自己資本の  
充実の状況等  
について



## 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮(中小企業の経営支援に関する取組状況)

当行グループや外部機関とのネットワークを活用し、お客さまのライフステージや経営課題・相談ニーズに応じて、創業・新規事業、経営改善支援、事業再生支援に積極的に取り組んでおります。

### 主な取組み事例

#### ■ 創業・新事業開拓をめざす企業に対する支援

公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立ち上げ時の資金需要へ積極的に対応するほか、産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等の支援に取り組んでおります。

- 「千葉元気印企業大賞」の共催
- 「ベンチャークラブちば」「ベンチャーカップCHIBA」への参画、参加・発表企業の推薦
- 千葉県をはじめとする地方公共団体の制度融資の活用
- ちば興銀「新規開業医ローン」の紹介
- 「ちば農林漁業6次産業化ファンド」をはじめとする各種ファンドの紹介
- 事業多角化(農業法人設立による新規参入等)への支援

#### 中小企業 育成支援

#### —「千葉元気印企業大賞」—

平成7年度より、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、新技術、新製品開発、ユニーク経営など、活力溢れる経営で時代を先取りする中小企業・ベンチャー企業を広く表彰することを通じて地域企業の発展を支援しております。

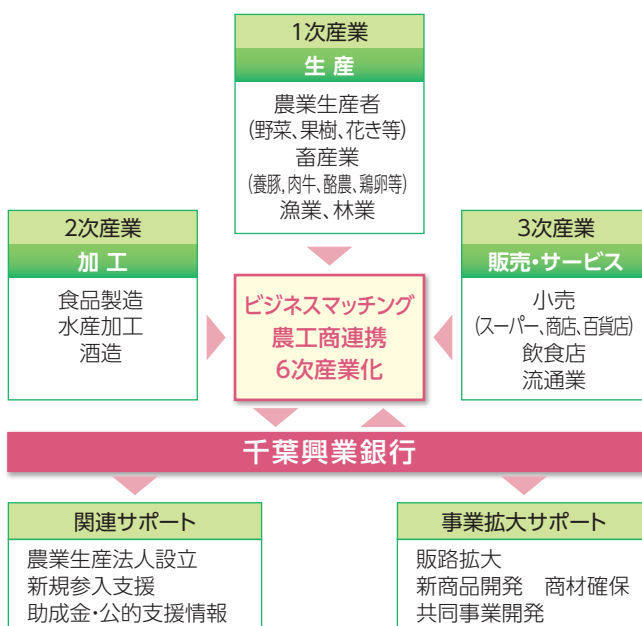


#### 農商工連携・ 事業多角化支援

#### — 農商工連携・事業多角化支援 —

農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを活かして新商品・研究開発・販路開拓等を行う新規需要の開拓をお手伝いいたします。また、農業生産法人設立などの事業多角化のサポートも行っております。

さらに、ビジネスマッチングを通して埋もれていた県産食材を掘り起こし新商品開発に取組み、また、高速道路のサービスエリアで「千産千消」ショップの開店を支援するなど、当行の持てるコンサルティング機能を発揮し、取引先のお役に立つ活動を行っております。



### 地域密着型金融の取組み・関東財務局より顕彰状授与

当行の医療・アグリビジネス分野を含めた取組みが高く評価され、関東財務局より「平成23年度地域密着型金融に関する取組みへの顕彰状」をいただきました。関東財務局が、地域金融機関の地域密着型金融の取組みを進化・定着させることを目的に、管内金融機関の取組みを評価し優良な金融機関を顕彰するものです。

当行は今後も、地域活性化と地元企業の成長を支援するさまざまな取組みを続けてまいります。



平成24年4月12日顕彰状授与

### 成長段階にある企業に対する支援

ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等、積極的に支援しております。また、JETRO等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程で必要なサポートに取組んでおります。

- ABL(売掛債権流動化等)活用等、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資の活用
- コベンツ付き融資、私募債の引受け、シンジケートローンのアレンジ等、お客さまの資金調達手段の多様化
- 「ちば農商工連携事業支援基金」「ちば中小企業元気づくり基金」等の助成金制度の紹介
- みずほグループ、政府系金融機関との連携
- 他業態企業との業務提携を活用した海外進出企業支援への取組み
- 各種相談会やセミナーの開催、海外展示会の紹介

「ちば農商工  
連携事業支援  
基金」採択事例

### —千葉県産果実による新商品開発— アグリ(フード)ビジネスの6次産業化、ビジネスマッチング

#### 千葉県産果実のアイスクリーム製造販売に係る6次産業化・ビジネスマッチング

A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社
果実 生産者	アイスクリーム 製造	果実搾汁	果実 放射能分析	運送	商品デザイン 評価	販売
新規取引先	新規取引先	新規取引先	当行取引先	当行取引先	新規取引先	新規取引先

消費者ニーズに対応した生産・加工・販売が求められるなか、千葉県産果実生産者のアイスクリーム製造をビジネスマッチングにより実現し、千葉県助成事業に採択されております。

また、サプライチェーンをつなげるために、取引先にかかわらず企業を総動員した6次産業化を支援。特に、消費者の「食の安心・安全」を担保するための食品衛生検査の実施や、消費者が買いたくなる商品づくり・商品評価をする企業も紹介し、「売れる商品づくり」をサポートいたしました。

トップ  
メッセージ

地域への  
取組み

平成  
24年度  
の概況

経営・内部  
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・  
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

連結決算

自己資本の  
充実の状況等  
について



## ■ 経営改善・事業再生が必要な企業に対する取組み

経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取組んでおります。

### 経営改善・事業再生が必要な取引先企業への取組み

- 中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定取得
- 千葉中小企業再生ファンド2号、千葉産業復興機構等のファンドへの出資や活用による地元企業の再生支援
- 千葉県中小企業再生支援協議会、千葉県産業復興相談センター、地域経済活性化支援機構等の外部機関との連携
- 「千葉県中小企業支援ネットワーク」への参画(地域連携)
- DES・DDS等の再生手法の活用と事業再生ファンド等の活用による抜本的事業再生スキームの検討
- 経営改善アドバイス・経営改善計画等の策定支援
- 業況や財務等の改善につながる新規信用供与の検討

### 取引先企業の再起に向けた取組み

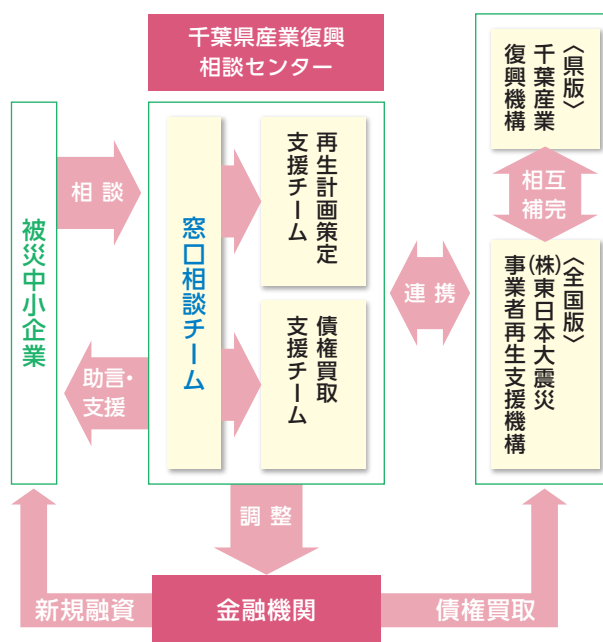
- 公認会計士、中小企業診断士、税理士、弁護士、サービサー等との連携
- 債務整理等を前提とした再起に向けた方策の検討

東日本大震災からの復興支援

## —千葉産業復興機構を活用した事業再生—

二重債務問題への対応については、平成24年3月、被災事業者の支援にかかる相談窓口として、「千葉県産業復興相談センター」が開所しました。また、早期の事業再生を支援するため、県、地域金融機関と独立行政法人中小企業基盤整備機構の共同出資により、「千葉産業復興機構」が設立されました。

当行は、千葉県産業復興相談センターへの人材の派遣や、千葉産業復興機構へ出資し、この震災復興支援スキームに参加しております。当行は、震災による影響を受けた中小企業のお客さまに対し、同スキームを活用した第1号案件、第2号案件の再生支援にも取組みました。



## ■ 事業承継が必要な企業に対する支援

事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員への雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者へ積極的に関与しています。外部専門家との連携による自社株評価や相続税試算、相続や自社株譲渡・株式買取資金の支援のほか、事業の見直し(第二創業)、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

- 本部ソリューション支援室による事業承継に係る経営相談対応
- みずほ信託銀行等外部専門機関と連携した「遺産整理業務」「遺言信託」の提供
- 証券会社やM&A専門会社と連携した企業マッチング、事業承継
- 中小企業投資育成会社等ファンドとの連携による事業承継対策
- ちば興銀「経営塾」の運営による次世代経営者育成

次世代経営者の育成支援

—ちば興銀「経営塾」の運営—

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催しております。これまでに150名を超える塾生に学びの場を提供しております。



地域の面的再生への積極的な参画 (地域の活性化に関する取組状況)

「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化に参画しております。また、地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行ってまいります。

主な取組み事例

- 福祉医療機構との協調融資
- 土地有効活用ニーズに対する医療・介護福祉施設建設の提案および資金ニーズ対応
- 聖徳大学との産学連携協定に基づく「千産千消」活動(千葉県産品の紹介)
- 千葉商科大学 中小企業研究・支援機構との連携
- 行員の「医療経営士」「農業経営アドバイザー」等専門知識習得の奨励
- メガソーラー建設、公共インフラ整備や公共施設建設のための資金(PFI含む)対応
- 仕事と子育ての両立支援
- サマーキッズスクールや金融経済クイズ大会の開催、インターンシップ受入れ、職場体験や銀行見学機会の提供
- 災害復旧支援資金(頑張ろう!千葉)・災害復旧支援ローンの取扱い

地域活性化への取組み

—「千産千商2012」(がんばろう!千葉おいしい食べもの直売会in聖徳祭)の開催—

当行が聖徳大学短期大学部と締結している「産学連携協定」に基づく活動のひとつであり、今回で3回目の取組みとなります。同校学園祭にて実施いたしました。

当日は、聖徳短大総合文化学科の学生が考案したアイディアを、当行取引先協力のもとに千葉県産の食材を利用して商品化し、聖徳ブランドのメロンパンとして、本学園祭で販売いたしました。

また、取引先企業が出展し、千葉県の魅力ある商品・食材を多くの方にご紹介いたしました。

平成24年11月3日・4日実施



「がんばろう千葉」キャンペーン ～「がんばろう千葉応援隊」に参加～

千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーンおよび「がんばろう千葉応援隊」の趣旨に賛同し、法人として応援隊に加入しており、千葉県経済の活性化を応援するための取組みを行っております。

- 「がんばろう千葉」キャンペーンについては、下記千葉県HPをご参照ください。  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>



トップメッセージ

地域への取組み

平成24年度の概況

経営・内部管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・株主の状況

連結決算

自己資本の充実の状況等について





次世代育成  
への取組み

### － 夏休み体験隊「サマーキッズスクール2012」の開催 －

次世代育成支援を目的に、毎年実施している金融教育・しごと体験イベントで、今回で6回目の開催となります。県内在住の小学校5・6年生30名が参加しました。また、当行でのインターシップに参加している大学生が、カリキュラムの一環として協力しました。

当日は、千葉商科大学大学院教授、伊藤宏一先生を講師に、「お金って何?」をテーマとして、お金の意味や使い道などについて学習し、続いて、マリーンズ戦のプログラムを販売する「働く」体験をすることで、大切なお金に関する理解を深めていただきました。

平成24年8月28日開催



講師/  
千葉商科大学  
大学院教授  
伊藤 宏一 先生



次世代育成  
への取組み

### － 「エコノミクス甲子園千葉大会」の開催 －

高校生を対象とした全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)千葉県大会を開催いたしました。クイズを通して、将来必要となる金融知力を伸ばすきっかけとするためのイベントで、金融経済教育の普及を図るためにNPO法人金融知力普及協会が実施しております。

千葉県内では4回目となり、従来同様、当行と千葉銀行と共同で主催いたしました。

(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)

平成24年12月16日実施



ワーク・  
ライフ・  
バランス

次世代育成  
への取組み

～仕事と子育ての両立～

－「子育てお母さん応援講座」開催－

千葉県が推進する「女性の再就職支援」事業の中の一部講座を当行が担当し、再就職をめざす県内の女性を対象に開催いたしました。

「職場見学」や「従業員との懇談」等を通して、職業理解の機会を提供し、仕事と子育ての両立をめざす県内の女性の再就職を応援しております。

平成25年3月15日実施



次世代育成  
への取組み

～仕事と子育ての両立～

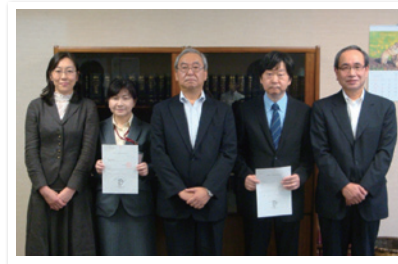
－「くるみんマーク」再取得！千葉労働局長より認定証交付－

千葉労働局長より、次世代育成支援対策推進法<sup>(※)</sup>第13条に基づく「基準適合一般事業主」としての認定を受け、次世代認定マーク「(愛称)くるみん」を再取得いたしました。平成19年に続き2回目の認定・取得となります。

当行では、従業員が仕事と育児を両立できるように支援するための環境整備・各種施策等の実施を、従業員に対するCSR(企業の社会的責任)の一環と位置付け、積極的に取り組んでおります。

当行は、今後も継続して仕事と家庭の両立を支援し、働きやすい職場作りに努めてまいります。

平成24年7月4日認定証交付



次世代認定マーク(愛称:くるみん)

「2012・07」は2007年と2012年に認定を受けたことを示しています。

※「次世代育成支援対策推進法」

急速な少子化に対応し、次世代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境整備を目的に平成17年に施行されたものです。仕事と子育ての両立ができる環境の整備などについて行動計画を策定し、都道府県労働局に届け出を行い、目標の達成が認定されると、次世代認定マーク(愛称:くるみん)が付与されます。

なお、当認定は平成19年4月より申請受付が開始されており、当行は千葉県内における第1号の認定企業となっております。

地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組み

地域密着型金融推進の取組みについては、さまざまな機会を捉えて積極的な情報開示を行っております。本ディスクロージャー誌とあわせて当行ホームページをご覧ください。

トップ  
メッセージ

地域への  
取組み

平成  
24年度  
の概況

経営・内部  
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・  
商品案内

財務諸表等

損益の状況

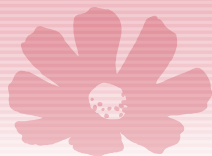
経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

連結決算

自己資本の  
充実の状況等  
について



## 地域貢献活動

### 文化・スポーツ活動

#### コスモスコンサートの開催

毎年6月、「千葉県民の日」を祝し、地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて、県立千葉女子高等学校オーケストラ部によるミニコンサートを19年連続で開催しております。



#### 「コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を毎年開催しご好評をいただいております。第15回は「房総の縄文土器」をテーマに開催し、約70名のお客さまが受講されました。



### 各種スポーツ大会・文化活動への貢献

当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を23年連続で開催しております。

平成24年10月開催の大会では、県内ゲートボール愛好家58チーム315名の方にご参加いただきました。

その他、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。



#### —「ちばアクアラインマラソン」に協賛—

平成24年10月開催の「ちばアクアラインマラソン」に、オフィシャルスポンサーとして協賛いたしました。当行行員もランナーとして参加し、また、当行清見台出張所の駐車場を応援イベント会場として提供するなど、県を挙げた一大イベントへ協力いたしました。



#### —「スポッツ・プロジェクト」に協賛—

県内在住の小学生を対象とした少年野球教室「SPOTS PROJECT(スポッツ・プロジェクト)」が開催され、当行は、千葉県内企業として初めて協賛いたしました。今後も県内の開催に協賛していく予定です。

※スポッツ・プロジェクト:

元千葉ロッテマリーンズ選手の黒木氏・小宮山氏が中心となり、全国の小・中学生を対象に開催している野球教室で、技術指導だけでなく、コミュニケーションや思いやりの大切さを伝える心の教育をめざしています。

平成24年12月15日実施



## 社会奉仕活動

### 「小さな親切」運動の推進

当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した方に贈られる「実行章」は、千葉県内で平成24年度(4月～3月)において2,391名が受章されました(累計311千人以上)。

当行行員は全員会員登録しており、地域のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



### 地域交流活動への積極的参加

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております(全部室店参加 総数1,049名)。

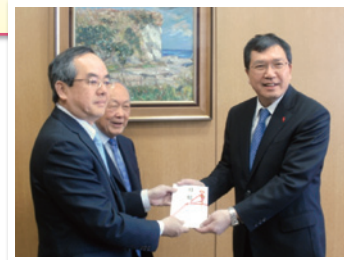
また、国道14号・357号沿線の12企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施するほか、各地域の環境美化活動にも積極的に参加しております。



### 交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へ地域ごとにスポークライト(自転車事故防止用反射板)を毎年贈呈しております(18年間で延べ221,900個)。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間に、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用し、交通安全意識の啓蒙に努めております。



### 寄付活動

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会会員である柏戸病院と千葉みなと病院へ寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等は、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しており、車椅子購入やボランティア活動資金として利用されております。

当行役職員による募金活動「ともじびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄付しております(36年間で延べ331施設4,079万円)。

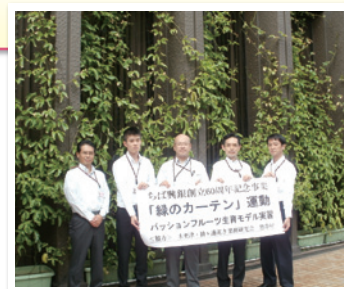


## 環境への取組み

### 「緑のカーテン運動」の実施

創立60周年記念事業を契機に、「緑のカーテン運動」(\*)を展開しております。平成24年度は本店で活動を開始し、本店役職員を中心に壁面緑化のモデル実習として、パッションフルーツの栽培を行いました。平成25年度以降、一部営業店にて実施しております。

※「緑のカーテン運動」:光合成によるCO<sub>2</sub>の吸収を図るとともに、夏の強い日差しを遮り、空調負荷の低減をめざす壁面緑化運動により、地域の皆さまとともに、環境にやさしい街づくりを支援する活動です。



トップ  
メッセージ

地域への  
取組み

平成  
24年度  
の概況

経営・内部  
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・  
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

連結決算

自己資本の  
充実の状況等  
について